

データヘルス計画書（健保組合共通様式）

計画策定日：平成27年7月31日

最終更新日：平成27年3月31日

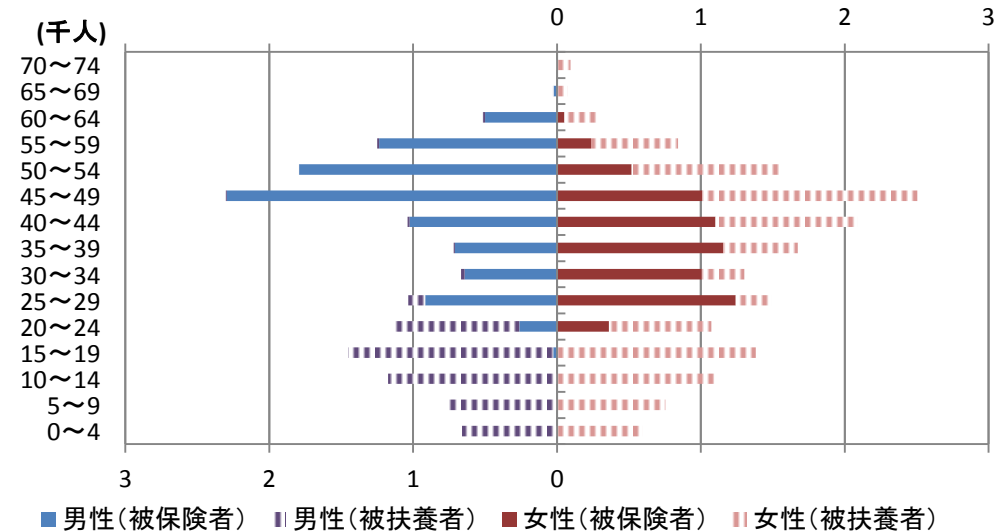
花王健康保険組合

STEP 1 - 1 基本情報

「全健保組合共通様式」

組合名称	20649 花王健康保険組合
形態	単一
被保険者数（平成26年度予算 注） * 特例退職被保険者を除く。	16,923名 男性58.7%（平均年齢44.7歳）* 女性41.3%（平均年齢38.3歳）*
特例退職被保険者数	0名
加入者数（平成26年度予算 注）	30,915名
適用事業所数	16ヵ所
対象となる拠点数	0ヵ所
保険料率（平成26年度 注）*調整を含む。	82.4%
	全体 被保険者 被扶養者
特定健康診査実施率（平成25年度）	86.5% 98.4% 60.9%
特定保健指導実施率（平成25年度）	50.8% 56.7% 0.0%

		健康保険組合と事業主側の医療専門職 （平成26年3月末現在）	
		常勤	非常勤
健保組合	顧問医	0	1
	保健師等	0	0
事業主	産業医	3	36
	保健師等	40	0



(注) 記載要領参照

- ・女性の加入割合が多く、女性の扶養も多いため、扶養率は0.95と高い。
- ・年齢分布では、40歳代後半の男性被保険者が最も多く、50歳代の男性が続いており、同年代の女性の被扶養者が多くなっている。

保健事業費	予算額（千円） （平成27年度 注）	被保険者一人当たり金額 （円）
	特定健康診査事業費	14,569
特定保健指導事業費	34,643	2,047
保健指導宣伝費	11,924	705
疾病予防費	519,769	30,714
体育奨励費	46,468	2,746
直営保養所費		0
その他	981	58
小計 …a	628,354	37,130
経常支出合計（千円） …b	8,265,996	
a/b×100（%）	7.60	

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

健保組合の取組													
予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
診特定事業健康	4	QUPiO	【目的】生活習慣病予防 【概要】生活習慣病健診受診者へのリスク別健康情報誌の提供、Webを活用した参加型の情報提供	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ~ 74	全員	15,646	利用対象者 (被保険者) 16,000名、(被扶養者 35歳以上) 3,000名		<課題> 健診受診後から冊子版QUPiO発行までの期間短縮、Web版利用者の拡大。	3
特導定事業保健指	3	特定保健指導	【目的】生活習慣病の予防と改善 【概要】指導は事業主に委託。35歳以上を対象として指導を実施。	被保険者	全て	男女	35 ~ 74	基準該当者	24,096	(2014年度実施率) 積極的支援 50.3%、動機づけ支援 53.0%	35歳以上を支援対象とし、早い段階から実施することに加え、プレメタボ層への介入を併せて実施することで、保健指導対象者は毎年減少している。	<課題> 被扶養者の特定保健指導実施	3
保健指導宣伝	4	健康情報提供	【目的】健康意識の向上 【概要】被扶養者を対象として、健康に関連するリーフレットをオリジナルで作成し配布。	被扶養者	全て	男女	35 ~ 74	全員	1,822	健診案内の送付 年1回発送。健診予約勧奨案内 7月に実施。案内と一緒に健康情報誌を送付する。			4
	6	前期高齢者対策	【目的】前期高齢者の医療費削減 【概要】前期高齢者を訪問し、生活習慣、行動、服薬等の相談・アドバイスを行い、健やかな健康生活を送っていただくための支援を行う。	被扶養者	全て	男女	62 ~ 73	全員	1,852	訪問対象者は毎年条件の見直しを実施。2014年度は62~73歳の被扶養者を対象とし、67名訪問。	年度ごとにターゲットを絞り、リスクに合わせた指導を実施。	<課題> 訪問受け入れ率の停滞。 <阻害要因> 被保険者への周知徹底不足による受け入れ辞退。	3
	7	ジェネリック	【目的】医療費削減 【概要】服薬者を対象に、後発品切替による自己負担額削減効果を利用促進通知として案内。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	基準該当者	1,089	(2014年度) 6か月間で3,000以上の削減効果が見込まれる、1,205名の服薬者に通知を送付。	ターゲットを絞り通知を発送	<課題> 切り替え率の停滞、効果検証 <阻害要因> 周知不足、抵抗感による切替拒否。	3
疾病予防	3	生活習慣病改善室	【目的】重症化予防による医療費削減 【概要】糖尿病リスク者を対象とした専門医による受診勧奨および情報提供	被保険者	全て	男女	18 ~ 74	基準該当者	1,204	(2014年度) 16名に対し、主治医介入プログラム実施。	糖尿病専門医による、診療・服薬状況に合わせた支援の実施。通院しつつも改善が見られない人にターゲットを絞ったアプローチ。		3
	4	禁煙支援	【目的】生活習慣病予防 【概要】禁煙を目的としたイベントの開催、啓発誌の発行、禁煙治療の費用補助	被保険者	全て	男女	18 ~ 74	全員	3,053	(2014年度実績) 花王グループ禁煙マラソン (42日間禁煙チャレンジ) 参加者 57名 完走率 43.9% 禁煙啓発誌「ヘルシービューティー」発行。被保険者 3,120名、被扶養者 5,350名に配布 禁煙サポート (費用補助) 27名利用	事業場ごとの禁煙推進プラン、イベント参加状況を担当間で常に共有。 禁煙成功者の体験記公開。		3
	1	歯科健診	【目的】歯科疾患の早期発見 【概要】事業場における集団歯科健診の実施、地域の契約機関での健診を実施。	被保険者	全て	男女	18 ~ 74	全員	20,790	(2014年度) 事業場 : 受診者数 4,404名 受診率 62.0% リージョン : 受診者数 1,935名 受診率 23.2%		<課題> オフィス外勤務者の受診促進。(美容部員など)	3
	7	インフルエンザ補助	【目的】医療費抑制 【概要】インフルエンザ予防接種を受けた方に一人あたり2千円を上限として補助。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	21,098	(2014年度実績) 接種者 10,543名 接種率 32.6%	社内イントラ、健保ホームページ、機関誌を活用して告知	<課題> 効果検証。	3
	1	生活習慣病健診	【目的】一次予防 【概要】35歳以上の被保険者を対象として事業主と共同で生活習慣病健診を実施。	被保険者	全て	男女	18 ~ 74	全員	290,285	(2014年度) 受診者 11,781名、受診率 99%	事業主と共同で実施することにより未受診者への勧奨が徹底されており、受診後のフォローも速やかに実施。		5
1	被扶養者健診	【目的】一次予防 【概要】35歳以上の被扶養者を対象とした生活習慣病健診 (婦人科検査等含む) を実施。	被扶養者	全て	男女	35 ~ 74	全員	115,668	(2014年度) 受診者 2,870名、受診率 58.1%	社員と同時の予約申し込み受け付けを実施。	<課題> 受診率停滞 <阻害要因> アンケートによる調査を実施予定。	3	
7	健康マイレージ	【目的】健康づくり意識の向上と習慣化 【概要】インセンティブを活用し、健康づくりに対する取り組みを支援する。	被保険者	全て	男女	18 ~ 74	全員	17,664	(2014年度) エントリー者 9,120名、エントリー率 56.3%	事業場担当者、看護職の協力。	<課題> 効果検証 QUPiOとの差別化	3	

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

体育奨励	7	健康づくり事業	【目的】健康意識の向上 【概要】事業場・リージョンにおいて、年度毎に「健康づくり事業の課題と目標」を設け、年間スケジュールに沿って実践。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	16,822	(2014年度) 119企画、のべ18千人が参加。	各事業場・リージョンの人事・看護職が企画・実施することで、職場環境、人員構成、ニーズに合わせた企画の実施が可能。 実施内容は全て共有し、計画に沿った効果が表れている事業場・リージョンには表彰を行う。	<課題> 参加者の固定化、オフィス外勤務者の対応（参加困難）	3	
直営所 保養																
その他																
(予 し 措 置 な)																

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

事業主の取組										
事業名	事業の目的および概要	対象者				振り返り			共同実施	
		資格	性別	年齢		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因		
新入社員教育	【目的】新入社員への健康意識啓発 【概要】心身の健康に関する自己管理意識の醸成と安全配慮義務に関する講義、健康保険に関わる意識啓発	被保険者	男女	18	～	26	2014年度 100%	新入社員研修においてプログラム化。 花王健康宣言を配布→会社として健康経営に取り組んでいる姿勢を伝達 健康マイレージ加入推奨→健康的な生活を推奨するため新入社員のうちからインセンティブ制度での意識づけを行う	【課題】効果測定 【阻害要因】特になし	有
メンタルヘルスマネジメント研修	【目的】メンタルヘルスにおけるラインケアの強化。 【概要】メンバーを持つ管理者へのメンタルヘルス教育。原則全員受講とする。	被保険者	男女	18	～	74	各事業場・リージョンごとに複数年かけて全管理者に受講。2014年度はベーシックコース84名、アドバンスコース239名が受講	メンタルヘルスマネジメント研修（ベーシックコース・アドバンスコース）を標準的な研修とし、全事業場・リージョンで実施することを原則とする。 ベーシックコースに関しては、人事の昇格者が受講するプログラムの中に組み込み、全員が漏れなく受講出来る仕組みを設ける。	【課題】効果測定 【阻害要因】メンタルヘルスマネジメント研修の効果指標を設定していない	有
メンタルヘルスセルフケア研修	【目的】社員のこころの健康度を高めるための研修 【概要】各事業場・リージョンで年1回実施。全社員対象。講義と個人ワーク。事前・事後にアンケート実施	被保険者	男女	18	～	74	2014年度5回開催	各事業場・リージョンともに年に1回はメンタルヘルスセルフケアに関する研修または教育・啓発を実施するように依頼。計画書を提出してもらい実施を促す。	【課題】効果測定。事前事後のアンケートは行っているが、新たな指標が必要であると認識。 【阻害要因】特になし。	有
節目年齢健康教育	【目的】30歳・40歳などの年齢の節目に生活習慣を見直し、健康的な生活を送る 【概要】30歳・40歳などの節目年齢の対象者に対して行う研修。研修内容は、各事業場・リージョンの実施方法による	被保険者	男女	30	～	74	各事業場・リージョンによる	健康教育の開催をランチタイムと合わせて、昼食をとりながら健康教育を受ける。同年代の仲間と啓発しあいながら研修の受講ができ、良い意識づけとなる。	【課題】参加しない人がいる 【阻害要因】任意参加としていること	無
定期健康診断	【目的】常時使用する労働者への健康診断 【概要】労働安全衛生規則44条に基づく定期健康診断と、特定健康診断、健保の保健事業として行う生活習慣病健診を合わせて実施	被保険者	男女	18	～	74	2014年度 99.99%	会社の行う健康診断と健保の行う特定健康診断、生活習慣病健診を同時実施。がん検診項目を含めて高い受診率を確保。	【課題】健診結果の早期回収によるすみやかな事後措置 【阻害要因】健診結果が遅い健診機関との連携	有
雇用時健診	【目的】常時使用する労働者に対し雇入れ時健診を行い、適正な就業配慮を行う。 【概要】労働安全衛生規則第43条	被保険者	男女	18	～	74	2014年度 100%	法定健診であるため必ず実施	【課題】雇用時健診業務のアウトソース 【阻害要因】なし	無
海外赴任前・帰国時健診	【目的】6か月以上の海外派遣労働者に対する健診実施と適正な事後措置 【概要】労働安全衛生規則第45条の2に基づく健康診断の実施	被保険者 被扶養者	男女	0	～	74	2014年度 100%	法定健診であるため必ず実施	【課題】海外赴任前・帰国時健診のアウトソース 【阻害要因】国により健診項目が異なるが、これに対応できるアウトソーシング先がない	無
海外駐在者健診	【目的】海外駐在者に対する健康診断と適正な事後措置 【概要】海外駐在者が帰国時、または現地で行う健診	被保険者	男女	0	～	74	2014年度 99.16%	日本への出張の機会、現地の健診機関などを活用した健康診断の受診促進	【課題】日本への出張、帰国の機会がない 社員の受診促進 【阻害要因】仕事により日本に帰国できない。現地に適正な健診機関が無い。	無
特定保健指導	【目的】メタボリックシンドロームの予防・改善 【概要】35歳以上の特定保健指導対象者に対する特定保健指導、特定保健指導対象者予備群（プレメタボ層）に対する特定保健指導	被保険者	男女	0	～	74	2013年度 68%（35歳以上特定保健指導対象者）	35歳以上社員の特定保健指導を花王健保から花王㈱に委託。事業主雇用の看護職が特定保健指導を実施する。	【課題】特定保健指導未実施者の存在。途中脱落。 【阻害要因】特定保健指導対象者の多さ、面談調整。	有
禁煙支援	【目的】喫煙者の健康リスク減少、非喫煙者の受動喫煙による健康リスク減少 【概要】花王グループ禁煙週間の設定、禁煙マラソン実施、喫煙対策実態調査による喫煙環境モニタリング	被保険者	男女	0	～	74	2014年度禁煙マラソン参加者：57名 花王グループ禁煙週間（5月31日～6月6日）：全事業場・リージョンで実施 喫煙対策実態調査：全事業場・リージョンで実施	年初に全事業場・リージョンで「禁煙推進プラン」を策定。翌年に「実施報告」提出 禁煙への取り組みを組織的な活動として位置付け	【課題】禁煙しやすい環境づくりの促進 【阻害要因】環境づくりへの意識が低いこと	有

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

メンタルヘルスクリーニング面談	【目的】メンタルヘルス不調者への早期対応 【概要】健診時に実施するメンタルスクリーニング問診の高得点者に対して、状況確認のための面談等を実施	被保険者	男女	18	～	74	2013年度 100%実施（10点以上高得点者）	メンタル不調者の過次確認とすみやかな対応	【課題】2015年のメンタル問診法改正への対応 【阻害要因】特になし	無
カウンセリング	【目的】メンタルヘルス不調者への早期対応 【概要】必要に応じたカウンセリング	被保険者	男女	0	～	74	2014年度 3,309件（社内健康相談室）632件（社外EAP）	相談窓口の周知	【課題】メンタル相談傾向の把握 【阻害要因】特になし	無
職場復帰支援	【目的】退職者のスムーズな復職 【概要】職場復帰ガイドラインに基づく復職支援	被保険者	男女	18	～	74	2014年度 100%	職場復帰ガイドラインの策定	【課題】確実な復職 【阻害要因】調査方法が定まっていない	無
就業上の配慮	【目的】ハイリスク者に対する適正な就業措置 【概要】就業上の配慮基準に基づき、健診結果のハイリスク者に対し、受診勧奨、健康状態の確認を行い、場合により就業制限を実施	被保険者	男女	18	～	74	2014年度より導入。対象者336名。うち就業上の配慮実施5名。	就業上の配慮基準の策定	【課題】特になし 【阻害要因】特になし	無

注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

注2) 1: 39%以下 2: 40%以上 3: 60%以上 4: 80%以上 5: 100%以上

- ・予防・介入可能な生活習慣病、がん、歯科対策を目的とした保健事業が多い
- ・健保と事業主が共同事業で実施する保健事業が多い
- ・健康マイレージ、健康づくり事業など、健康の維持増進に着目した保健事業も展開している

STEP 1 - 3 (基本情報_健康保険組合の特性)

1. 健保被保険者の構成

社員構成の特徴

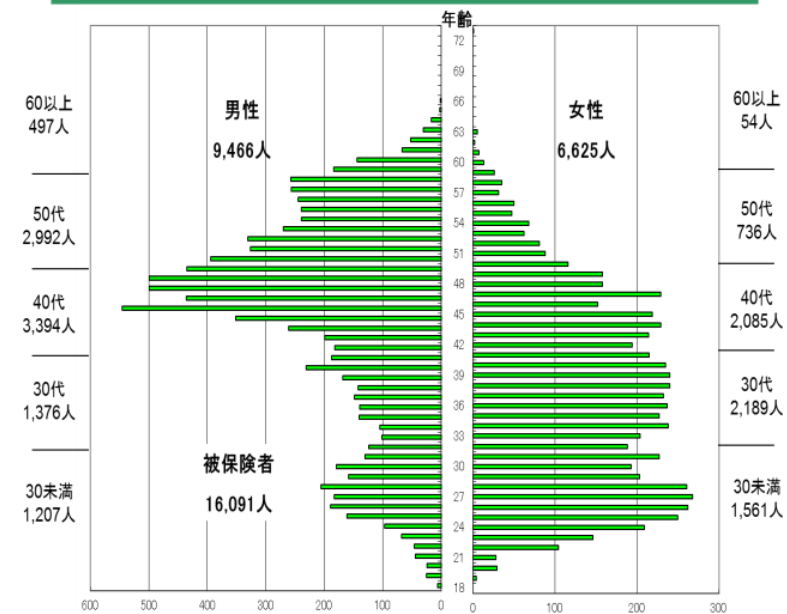
(生産・研究・事業場)	すみだ事業場
	和歌山事業場
	栃木事業場
	川崎工場
	酒田工場
	鹿島事業場
	豊橋事業場
ESP	

工場・研究所等に在籍			
生産部門	男性	約2,400人	【平均年齢：44.4歳】
"	女性	約 200人	【 " : 42.3歳】
内、交替勤務者 約1,000人			
研究開発	男性	約1,500人	【 " : 40.7歳】
"	女性	約 500人	【 " : 35.6歳】
MK・スタッフ	男性	約1,200人	【 " : 46.8歳】
"	女性	約 800人	【 " : 39.4歳】
合計		約6,600人	

(販売系)	首都圏リージョン
	北海道リージョン
	東北リージョン
	中部リージョン
	大阪支社・近畿リージョン
	中四国リージョン
	九州リージョン

全国に点在する販売系関係会社社在籍			
営業・販売職	男性	約3,600人	【平均年齢：46.1歳】
"	女性	約2,400人	【 " : 40.7歳】
美容職	女性	約2,200人	【 " : 34.6歳】
合計		約8,200人	
内、直行直帰型勤務者 約3,400人			

被保険者年齢別分布 (2013.12.31時点)



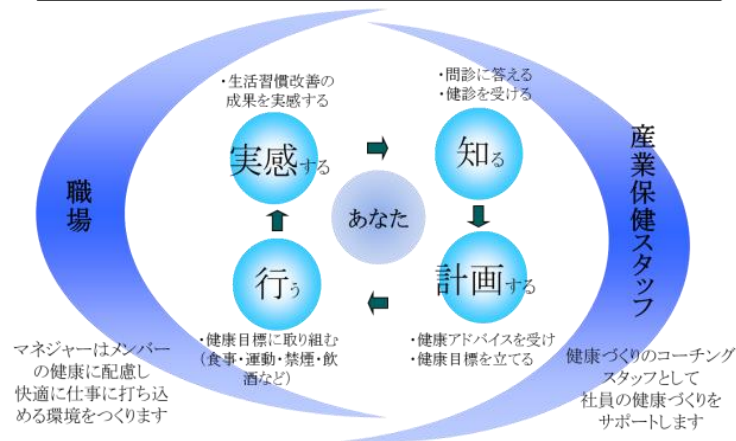
- ・ 本社・工場を主体とした【事業場】販売会社を主体とした【リージョン】があり、それぞれ健康相談室単位でとりまとめ健康づくり施策を実施
- ・ 【事業場】は社員が工場、研究所等に在籍し、健康実務担当者や産業看護職がいつでもコンタクト可能
- ・ 【リージョン】は全国に点在する支社、支店勤務で、直行直帰の社員も多く、健康実務担当者や産業看護職との接点が薄くなりがち。
- ・ 年齢構成をみると男性は40代半ばに大きな山、女性は30代、40代が多い、男女ともに今後は高齢化していく。

STEP 1 - 3 (基本情報_健康保険組合の特性)

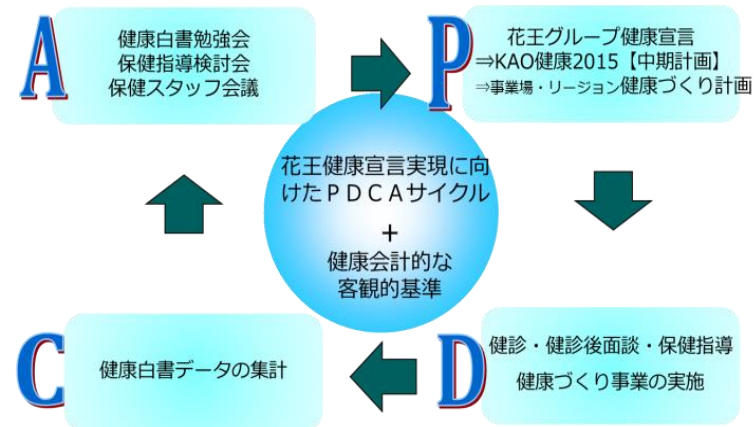
2. 保健事業の基本的な考え方

健康づくりサイクル

本人が自ら考え、健康目標を立て、自分の健康づくりに主体的に取り組み、その取り組みを職場や、産業保健スタッフが支えていく仕組みを推進します。



健保・会社の健康づくりマネジメントシステム



- ・ 本人の「健康づくりサイクル」を推進する

本人が自ら考え、健康目標を立て、自分の健康づくりに主体的に取り組むことを「健康づくりサイクル」と呼び、健保や会社が積極的な支援を行う

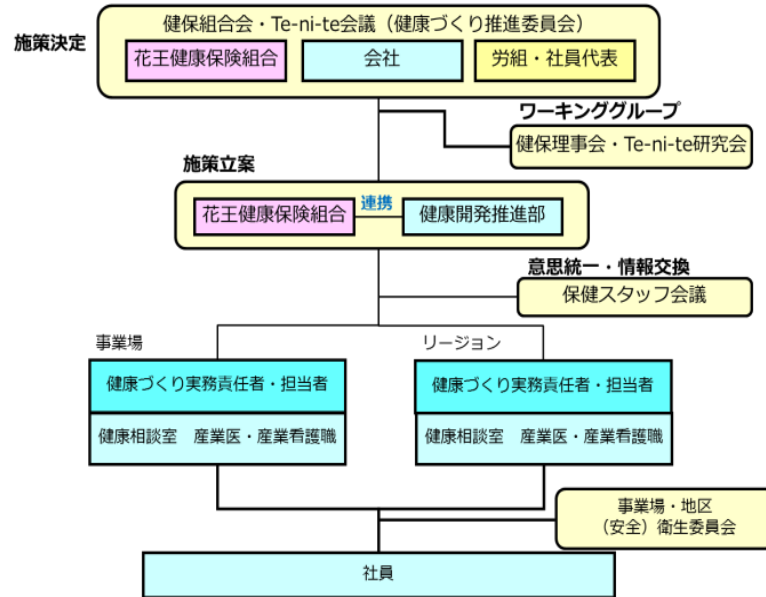
- ・ 健保と事業主のコラボにより「健康づくりマネジメントシステム」を推進する

保健事業の企画・推進は「健康づくりマネジメントシステム」に基づくPDCAを推進する

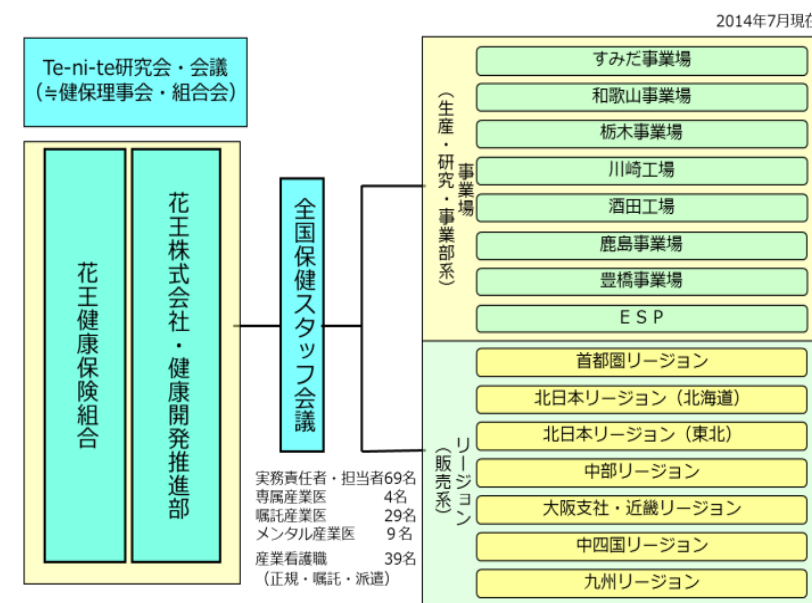
STEP 1 - 3 (基本情報_健康保険組合の特性)

3. 共同事業の進め方

推進体制



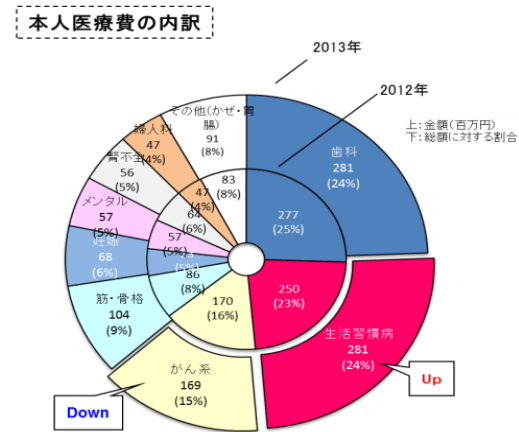
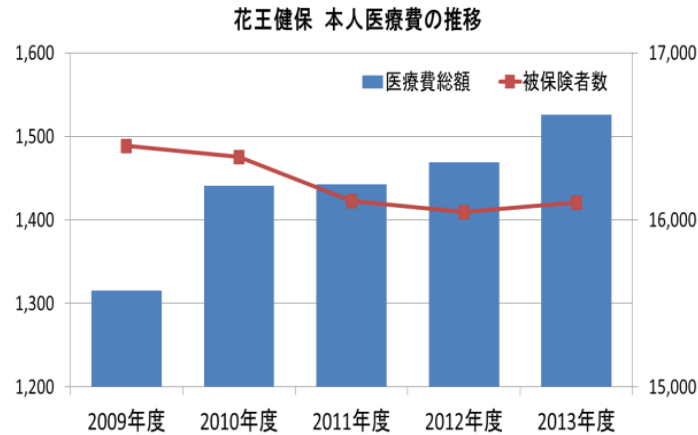
花王グループ健康づくり体制



- ① 施策の立案（データヘルス計画の策定）：花王健康保険組合と健康開発推進部が共同で行う
- ② ワーキンググループ：健保理事会・Te-ni-te研究会（健康づくり企画研究会）で施策内容の審議・検討
- ③ 施策決定：健保組合理会・Te-ni-te会議（健康づくり推進委員会）で施策決定
- ④ 意思統一・情報交換：現場のスタッフが集まる保健スタッフ会議で情報交換・意思統一を行う
- ⑤ 施策の実行（データヘルス計画の実行）：事業場・リージョンの健康づくり実務責任者と担当者が産業看護職と共に実行する。

STEP 1 - 4 (基本分析で現状を把握する ①レセプト (コスト) 分析の概要)

1. 本人医療費の推移と内訳

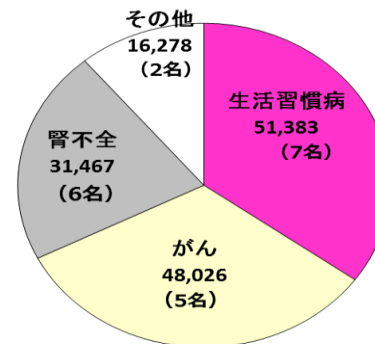


- ・花王健保では、近年、被保険者数は減少、平均年齢は上昇傾向にある。
- ・加齢により本人医療費は増加している。
- ・内訳をみると、歯科（24%）、生活習慣病（24%）、がん（15%）が上位を占める。
- ・1件100万円以上の高額医療費は、生活習慣病、がん、腎不全が上位を占めている。

⇒医療費全体、高額医療費ともに予防・対策可能な疾患が上位を占めている。

2. 高額医療費の状況

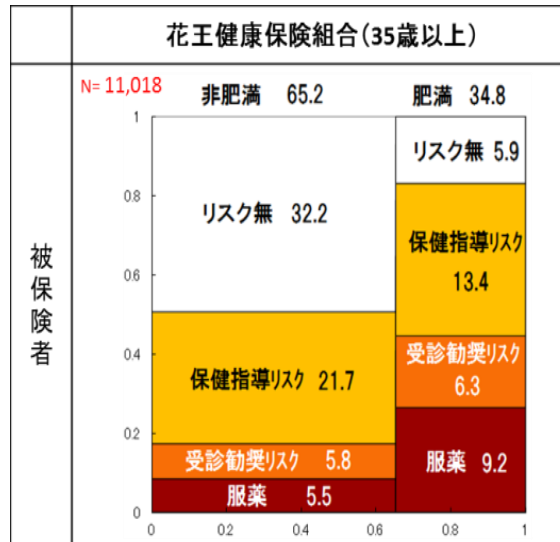
高額医療費(上位20名)の疾病別状況



(医療費：千円)

STEP 1 - 5 (基本分析で現状を把握する ②健診 (リスク) 分析の概要)

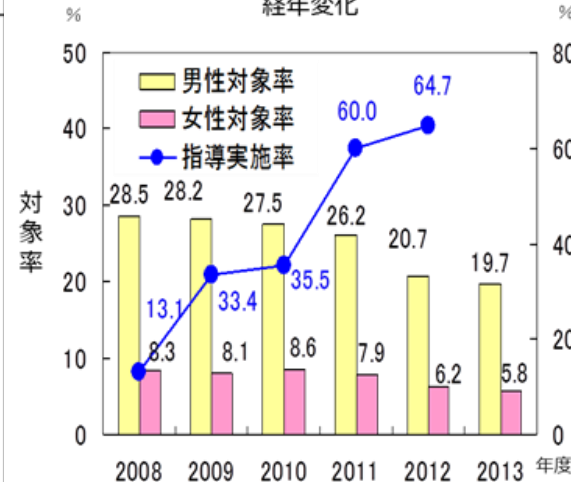
1. 健康分布図



2. 疾病リスクの状況

(メタボリックシンドローム該当者・予備群)

35歳以上 特定保健指導対象者
経年変化



35歳以上メタボリックシンドローム該当・予備群
経年変化



2012年度はこれまでと比較して、メタボリックシンドロームの該当者・予備群の減少を認めた。

理由として、これまでの継続的な取り組みに加え、特定保健指導の集団指導を複数の事業所で取り入れたこと、

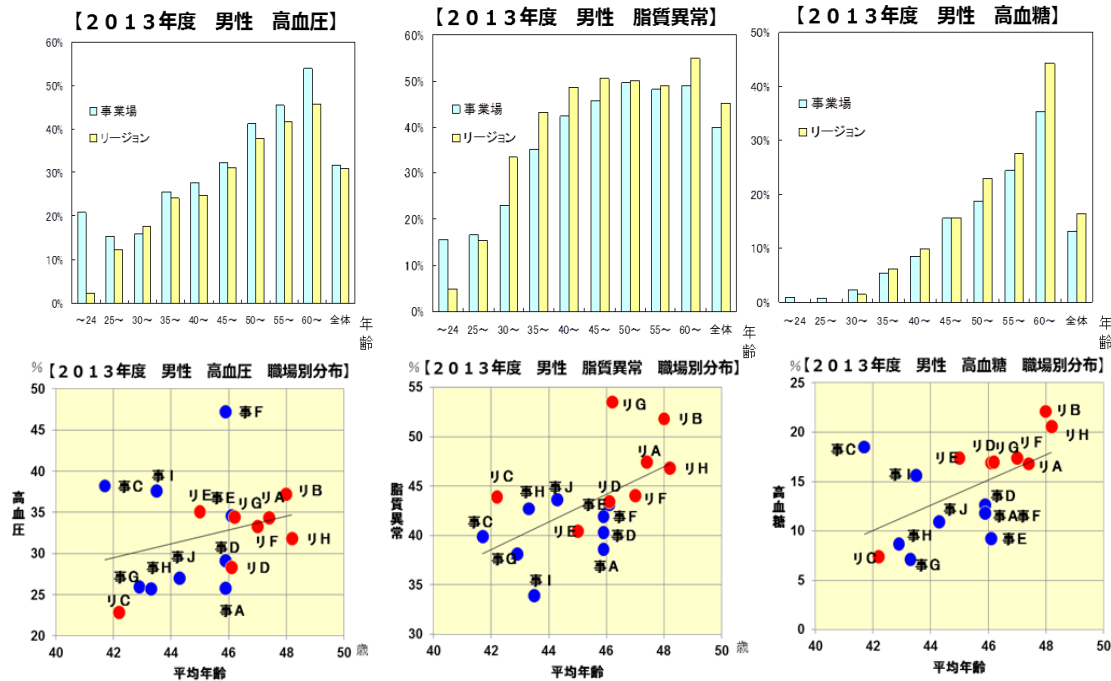
特定保健指導の実施率向上を図ったこと、またプレメタボ層（国が定める特定保健指導対象より選定基準を拡大）に対する保健指導を実施したことがあげられる。

一方、2013年度に入ってから、メタボリックシンドローム該当者・予備群の変化は横ばいであるものの、その内訳に「メタボ突入者」と「メタボ脱出者」の再逆転が見られた。

ここ数年の大きな変化としては、花王グループ全体として年齢分布が高年齢化していること、依然として男性社員は30代の肥満化傾向があることなどから、従来の施策の分析も踏まえた新たな施策を企画したい。

STEP 1 - 6 (基本分析で現状を把握する ②健診 (リスク) 分析の概要)

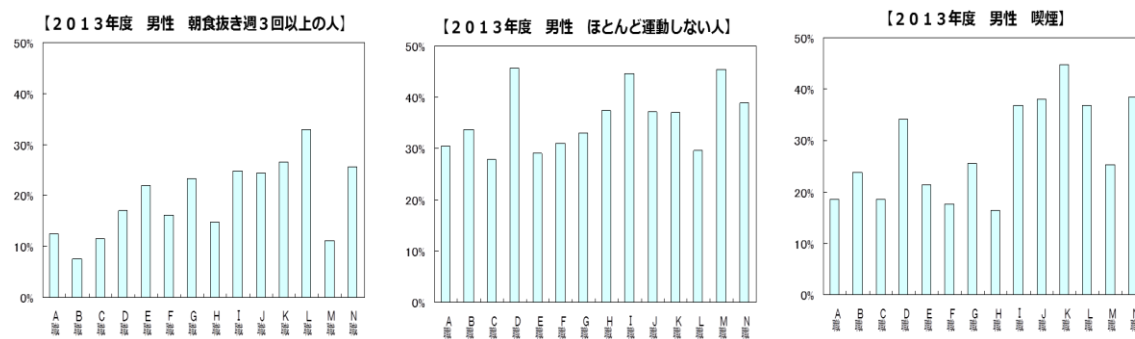
3. 事業場・リージョン別 疾病リスクの状況 (高血圧・脂質異常・高血糖)



- ・事業場 (工場系) は高血圧が多い
- ・リージョン (販売系) は脂質異常および高血糖が多い
- ・地域により健康課題に特徴がある。

※図では事業場を事A～事J、リージョンをリA～リHとして記載

4. 職種別 生活習慣の状況 (食事・運動・喫煙)



- 生活習慣の状況は、職種毎に異なり、職場環境毎に健康課題がある

※図では職種をA職～N職として記載

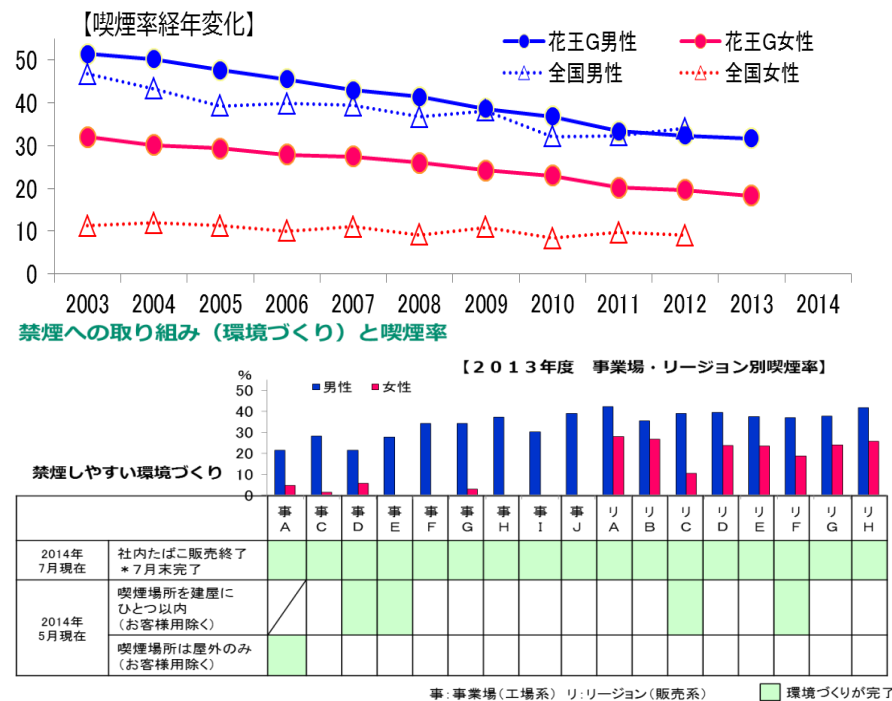
STEP 1 - 7 (基本分析で現状を把握する ②健診 (リスク) 分析の概要)

5. 疾病リスクの状況 (重症疾患新規発症者)

2009年~2012年 重症疾患 新規発症者 (虚血性心疾患・脳梗塞・脳出 血・くも膜下出血等)	人数	メタボ判定	重症疾患発症リスク					喫煙
		該当・予備群	有	高血圧	脂質異常	高血糖	治療中	
肥満	27	23	25	21	18	16	20	17
非肥満	28	2	26	14	20	12	11	14
合計	55	25	51	35	38	28	31	31

- ・ 2009年~2012年の重症疾患新規発症者55人の発症前の健診結果を調べたところ、重症疾患の発症リスク(高血圧・脂質異常・高血糖)を持つものが51名、31名が喫煙者だった。
- ・ 2009年~2012年の重症疾患新規発症者を疾患別で見ると、虚血性心疾患、脳血管障害など、生活習慣病の憎悪が原因と考えられる加入者が少なくない。
- ・ また、要治療者の中に依然として未受診と考えられる加入者、継続治療を受けているが重症化している加入者を認める。
⇒重症化予防への注力も課題と考えられる。

6. 生活習慣の状況 (喫煙)



- ・ 喫煙率については「禁煙しやすい環境づくり」と「禁煙を始めた人への支援」を通じて喫煙対策を行い、喫煙率は徐々に低下しつつある。
- ・ かつては、男女ともに喫煙率の高さが指摘されていたが、男性は全国平均並みになった。
- ・ 女性は、いまだ全国平均よりも喫煙率が高い傾向にある。

※図では事業場を事A~事J、リージョンをリA~リHとして記載

STEP 2 健康課題の抽出

「全健保組合共通様式」

基本分析による現状把握から見える主な健康課題

対策の方向性

医療費	<ul style="list-style-type: none"> ・花王健保の被保険者数は減少傾向にあるものの平均年齢は上昇傾向 ・本人医療費および高額医療費（レセプト1件あたり100万以上）が年々増加傾向 ・本人医療費の上位は①生活習慣病24%②歯科24%③がん15% ・高額医療費の上位は①生活習慣病②がん③腎不全 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病発症予防の徹底（性別・年代別・疾病別にみた予防策の検討）
メタボリックシンドローム	<ul style="list-style-type: none"> ・メタボリックシンドロームの該当者・予備群は減少傾向にある。 ・2011年の特定保健指導の強化とプレメタボ層（国が定める特定保健指導対象より選定基準を拡大）への保健指導により、2012年度のメタボリックシンドローム突入者よりも脱出者が増加した。 ・しかし2013年度にはメタボリックシンドローム脱出者よりも突入者が減少し再逆転が起こっている。 ・30代男性社員は肥満化の傾向にある 	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の成果を得ているプレメタボ層対策の継続 ・特定保健指導の再徹底による実施率向上
職場環境・職種	<ul style="list-style-type: none"> ・事業場（工場系）は高血圧が多い ・リージョン（販売系）は脂質異常および高血糖が多い ・「高血圧」「脂質異常」「高血糖」と平均年齢の相関を調べたところ、平均年齢が低くても有所見者が多い事業所があり、逆に平均年齢が高くても有所見者率を低く抑えている事業所があることが分かった。 ・「朝食抜き」「運動頻度」「喫煙」の状況を職種別に調べたところ、職種により対象者率が異なることが分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職場環境および職種の特性に応じた健康課題の抽出 ・課題に応じた、より効果の高い健康づくり施策の実践

STEP 2 健康課題の抽出

「全健保組合共通様式」

重症疾患新規発症	<ul style="list-style-type: none"> ・2009年から2012年の過去4年間にわたる重症疾患新規発症者数をみると、虚血性心疾患、脳血管障害など、生活習慣病の憎悪が原因と考えられる加入者が少なくない。 ・要治療者の中に未受診と考えられる加入者、継続治療を受けているが重症化している加入者がいる。 ・新規発症者55人中、重症疾患発症リスクを持つ者が51名、31名が喫煙者であった。 	▶	<ul style="list-style-type: none"> ・未受診者対策、コントロール不良の対象者への対策 ・禁煙支援の継続
喫煙	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙率は低下傾向にあるが、女性の喫煙率は高い 	▶	<ul style="list-style-type: none"> ・「禁煙しやすい環境づくり」の継続 ・「禁煙をはじめた人への支援」の徹底

特徴		対策検討時に留意すべき点	
基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢構成をみると男性は40代半ばに大きな山、女性は30代、40代が多く、今後高齢化していく ・本社・工場を主体とした【事業場】、販売会社を主体とした【リージョン】があり、それぞれ健康相談室単位でとりまとめ、健康づくり施策を実施 	▶	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化傾向にあることを鑑みて、中長期的に効果の出る施策を実施する ・【事業場】は社員が工場・研究所等に在籍し、健康実務担当者がいつでもコンタクト可能 ・【リージョン】は全国に点在する支社、支店勤務で、直行直帰の社員も多く、健康実務担当者や産業看護職との接点が薄くなりがち。
保健事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・一般的に事業場・リージョンの協力を得られ健保と事業主で共同実施できている。 ・事業の計画、実績を事業主の担当者・産業看護職間で共有することで、より職域にあった計画の策定ができている。 	▶	<ul style="list-style-type: none"> ・参加率、実施率などの数字だけではなく継続的な効果検証を行う。 ・若年層（30歳未満）に対する健康支援、指導の強化。 ・被扶養者、オフィス外勤務者に対する対応の強化。

STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算科目	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施計画	目標（達成時期：平成29年度末）								
			資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム				
職場環境の整備																	
体育奨励	7	既存	禁煙しやすい環境づくり	【目的】職場における喫煙機会の減少、受動喫煙の防止 【概要】 ・各事業場・リージョンごとに受動喫煙対策チーム設置 ・各事業場・リージョンごとの禁煙推進プラン ・喫煙対策状況実態調査	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	2	・各事業場・リージョンごとに受動喫煙対策チーム設置 ・制服着用時禁煙の実施 ・受動喫煙対策の評価および表彰とイントラを活用したグッドプラクティスの情報共有	・建屋内の喫煙室を1か所に。または建屋内のゼロ化、屋外への設置	・全ての各事業場・リージョンで受動喫煙対策チームを設置 ・建屋内の喫煙室1か所に	・喫煙率 3%減（男性31%、女性18%）	
その他	7	既存	0円ジム（階段ウォーキング）	【目的】ウォーキング習慣の定着 【概要】階段をジムに見立て階段歩行を推奨	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	2	・平成26年度より本社で実施している0円ジムに基づき、本社でウォーキング習慣意識調査	・実施可能な事業場での展開	・平成27年、28年の実績に基づき継続展開	・0円ジムの導入事業場の増加	・歩行習慣のある人の増加 1日の歩行60分以上の人10%増（男性 51%、女性 48%）
	7	既存	花王健康ごはん	【目的】健康的な食習慣の定着 【概要】食堂での「花王健康ごはん」の提供	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	2	・平成26年度に本社にて提供した「花王健康ごはん」の効果検証	・本社以外の事業場での「花王健康ごはん」の提供	・成果をみて継続展開	・「花王健康ごはん」を提供する事業場の増加 ・「花王健康ごはん」の喫食数の増加	・食事バランスを考えている人の率 10%増（男性68%、女性 76%）
加入者への意識づけ																	
特定健康診査事業	2	既存	QUPIO（健康生活応援ツール）	【目的】自らの生活習慣に気づき、予防改善する社員の増加 【概要】自らの健診結果に基づいた個別冊子の配布、Webによる記録の習慣化	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	3	・健康的な生活を送る社員向けのインセンティブプログラムをQUPIO内で実施 ・WebQUPIO記録促進キャンペーン	・QUPIOのコミュニティを活用した各事業場の健康イベントの促進	・事業の効果検証	・QUPIOをアクティブ（月に1回以上）記録する人の率 60% ・QUPIOのマルチに登録する人の率 60%	・ヘルスリテラシーの高い社員の増加 ・生活習慣改善に取り組んでいる人の率 男性30% 女性22%
体育奨励	4	既存	健診前キャンペーンをきっかけとした生活習慣改善記録	【目的】生活習慣の振り返りと生活習慣記録の定着化 【概要】 ・健診前の4月～6月の3か月間にわたり、健診前キャンペーンを実施、食事、運動、禁煙などの生活習慣について振り返りの機会を提供します。 ・Web記録システムを活用した食習慣改善支援、ウォーキングキャンペーン、禁煙マラソンなどを活用 ・各キャンペーンは生活習慣改善のきっかけとし、キャンペーン終了後はQUPIOを活用して、個々人が健康づくりに取り組む	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	3	・健診前ウォーキングキャンペーン実施	・食習慣、禁煙マラソンなどの融合	・27年度、28年度の実施状況を踏まえ、改善を図る	・参加率40% キャンペーンの達成率50%	・生活習慣改善に取り組んでいる人の率 男性30% 女性22%
その他	7	既存	事業主トップメッセージ	【目的】健康経営を実践する会社としてのメッセージを加入者に伝える 【概要】「花王グループ健康宣言」の発行と配布、社内報等を通じたメッセージの随時発信	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	2	・入社時に「健康宣言」配布 ・社内報「Te-ni-te」でトップ自らの健康の取り組みを「私の健康宣言」として告知	・入社時に「健康宣言」配布 ・社内報「Te-ni-te」でトップ自らの健康の取り組みを「私の健康宣言」として告知	・入社時に「健康宣言」配布 ・社内報「Te-ni-te」でトップ自らの健康の取り組みを「私の健康宣言」として告知	・「花王グループ健康宣言」を読んだことがある人 100%	・生活改善に取り組む人の割合10%増（男性30%、女性 22%）
個別の事業																	

STEP3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算科目	事業名	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施率	実施計画			目標（達成時期：平成29年度末）		
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム	
特定保健指導事業	3	既存	特定保健指導	【目的】メタボリックシンドローム由来の生活習慣病の予防 【概要】 ・自社看護職およびHCC(株)の専門職による特定保健指導 ・積極的支援、動機づけ支援レベルの対象者への保健指導に加え、プレメタボ層への特定保健指導も実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ~ 74	全員	3	・全健康相談室内臓脂肪測定器を設置 ・30代若手男性社員への介入開始	・プレメタボ層への介入強化 ・節目年齢研修等の機会を利用した内臓脂肪測定会の開催	・新入社員への介入開始	特定保健指導実施率 70%	メタボリックシンドローム該当者・予備群の率 5%減少 (男性 28%、女性 5%)
保健指導宣伝	6	既存	前期高齢者対策	【目的】前期高齢者の医療費削減 【概要】前期高齢者を訪問し、生活習慣、受診行動、服薬等の相談・アドバイスを行い、健やかな健康生活を送っていただくための支援を行う。	被扶養者	全て	男女	62 ~ 73	基準対象者	1	基準対象者（訪問の成果が現れる人）に実施。	基準対象者（訪問の成果が現れる人）に実施。	基準対象者（訪問の成果が現れる人）に実施。	訪問指導受け入れ率 50%。	前期高齢者のひとりあたり医療費3%減。
	7	既存	ジェネリック	【目的】医療費削減 【概要】服薬者を対象に、後発品切替による自己負担額削減効果を利用促進通知として案内。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	基準対象者	1	ターゲットを絞り案内を実施。	ターゲットを絞り案内を実施。	ターゲットを絞り案内を実施。	後発医薬品の数量シェア 60%	ひとりあたり医療費削減
疾病予防	3	既存	生活習慣病改善室	【目的】生活習慣病の医療費削減 【概要】 ・要治療域の未治療者に対する受診勧奨 ・治療中のコントロール不良者への治療支援	被保険者	全て	男女	18 ~ 74	全員	1	・糖尿病をターゲット疾病とした受診勧奨と治療支援と効果測定、高血圧症への展開検討。	・高血圧症への受診勧奨を実施。糖尿病支援の再構築。	・高血圧症及び糖尿病への受診勧奨・治療支援の再構築。脂質異常症への展開を検討開始。	・HbA1c6.5以上またはFBS126以上を支援対象とし、未受診者全員に受診勧奨、重症域には治療支援面談を実施	・未受診者の翌年の受診プラス改善が80%以上 ・重症域者率0.85%を3割減
	1	既存	歯科健診	【目的】歯科疾患の早期発見 【概要】事業場における集団歯科健診の実施、地域の契約機関での個別健診実施。	被保険者	全て	男女	18 ~ 74	全員	1	各事業場・リージョンで実施	各事業場・リージョンで実施	各事業場・リージョンで実施	受診者数 8,000名、実施率 50%	・高額歯科医療費該当者10%減
	1	既存	生活習慣病健診	【目的】一次予防 【概要】35歳以上の被保険者（社員）を対象とし、事業主と共同で実施。	被保険者	全て	男女	35 ~ 74	全員	3	各事業場・リージョンにおいて実施。	各事業場・リージョンにおいて実施。	各事業場・リージョンにおいて実施。	受診率 100%	-
	1	既存	被扶養者健診	【目的】一次予防 【概要】35歳以上の被扶養者を対象とした生活習慣病健診を実施し、早期発見・治療につなげる。	被扶養者	全て	男女	35 ~ 74	全員	1	イベント型健診の開催。	イベント型健診の開催。	イベント型健診の開催。	受診者数 4,000名 受診率 80%	早期発見による被扶養者医療費（入院）の削減
	7	既存	健康づくり事業	【目的】職場での健康づくり活動の実践と健康的な風土の醸成 【概要】各事業場・リージョンの個別課題に応じた目標設定、健康づくり活動（セミナー、イベント等）の実践と評価	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ~ 74	全員	3	・各事業場・リージョンにおける「健康づくり事業の課題と目標」設定とその評価 ・優秀事業場についてグッドプラクティス表彰を実施	・各事業場・リージョンにおける「健康づくり事業の課題と目標」設定とその評価 ・優秀事業場についてグッドプラクティス表彰を実施	・各事業場・リージョンにおける「健康づくり事業の課題と目標」設定とその評価 ・優秀事業場についてグッドプラクティス表彰を実施	・「健康づくり事業」を実施する事業場 100%	・生活習慣改善に取り組んでいる人の率 男性30% 女性22%

STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算 科目	事業 区分	事業名	事業の目的および概要	対象者					実施 年	実施計画			目標（達成時期：平成29年度末）			
				資格	対象 事業所	性別	年齢	対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム		
体育 奨励	7	既存 禁煙を始めた人への支援	【目的】禁煙を始めた人への禁煙支援 【概要】 ・禁煙サポート：禁煙治療にかかる費用を3万円まで費用支援。禁煙を始めた日から6か月間喫煙をしなかった場合に費用補助 ・禁煙マラソン：毎年5月31日の世界禁煙デーから42日間を花王グループ禁煙マラソン都市、喫煙者が禁煙に取り組めるキャンペーンを開催 ・花王グループ禁煙週間：毎年5月31日の世界禁煙デーから一週間、禁煙啓発活動実施	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	3	・花王グループ禁煙マラソン実施 ・禁煙サポート継続	・花王グループ禁煙マラソン実施 ・禁煙サポート継続	・花王グループ禁煙マラソン実施 ・禁煙サポート継続	・禁煙マラソン参加者100名以上 ・禁煙サポート利用者100名以上	・喫煙率 3%減（男性 31%、女性 18%）
	4	既存 内臓脂肪に着目した生活習慣改善キャンペーン	【目的】健康状態の見える化を契機とした生活習慣改善 【概要】 ・花王(株)ヒューマンヘルスケア事業部の知見を活かした内臓脂肪に着目した保健事業 ・「歩く」<測る> <食べる>を軸に測定会実施、自身の内臓脂肪の見える化による気づき→内臓脂肪や生活習慣についてのレクチャー→ウェブサイトで生活習慣記録→次の測定会で振り返り実施	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	3	・複数事業場でキャンペーン期間を設け、導入	・内臓脂肪測定イベントキャンペーン実施。 ・食の情報提供開始	・27年度、28年度の状況を見てアプローチ方法検討	・全事業場・リージョンでキャンペーンを実施	・生活習慣改善に取り組んでいる人の率 男性30% 女性22%
その他	7	新規 生産性および健康意識（ヘルスリテラシー）分析による事業ターゲット設定	【目的】健康状態だけでなく、生産性、健康意識も加味した分析を行うことで、さらに効果的な保健事業の指針とする 【概要】 ・健康基礎情報（レセプト・健診・問診データ等）の分析に加え、健康意識に基づく階層分析と健診データの相関を検証する。 ・健康基礎情報と生産性の相関を検証する。	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	3	・健康意識調査および生産性問診の実施 ・健康基礎情報×健康意識、健康基礎情報×生産性の分析実施	・分析結果に基づく具体的な保健事業の検討と実施	・平成27年、28年度事業の効果検証	・健康基礎情報×健康意識の分析結果 ・健康基礎情報×生産性の分析結果	・分析結果に基づく効果的な保健事業の提案と実践
	7	既存 就業上の配慮	【目的】対象者の健康状態の回復と生活習慣病重症化予防対象者の削減 【概要】 ・健診結果の要管理対象者に対する受診勧奨と就業上の配慮措置 ・就業判定基準を設け、血圧、血中脂質、糖代謝、貧血について要精密検査以上の値が出た対象者について就業判定を実施。 ・必要に応じた出張や残業、特定業務への就労制限	被保険者	全て	男女	18	～	74	全員	2	・全事業場・リージョンにおいて実施	・全事業場・リージョンにおいて実施	・全事業場・リージョンにおいて実施	・対象者への就業上の配慮措置 100%	・重症疾患新規発症者 30%減

注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業